

30th

事業報告書

【第30期】平成20年4月1日 ▶ 平成21年3月31日

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第30期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成21年6月

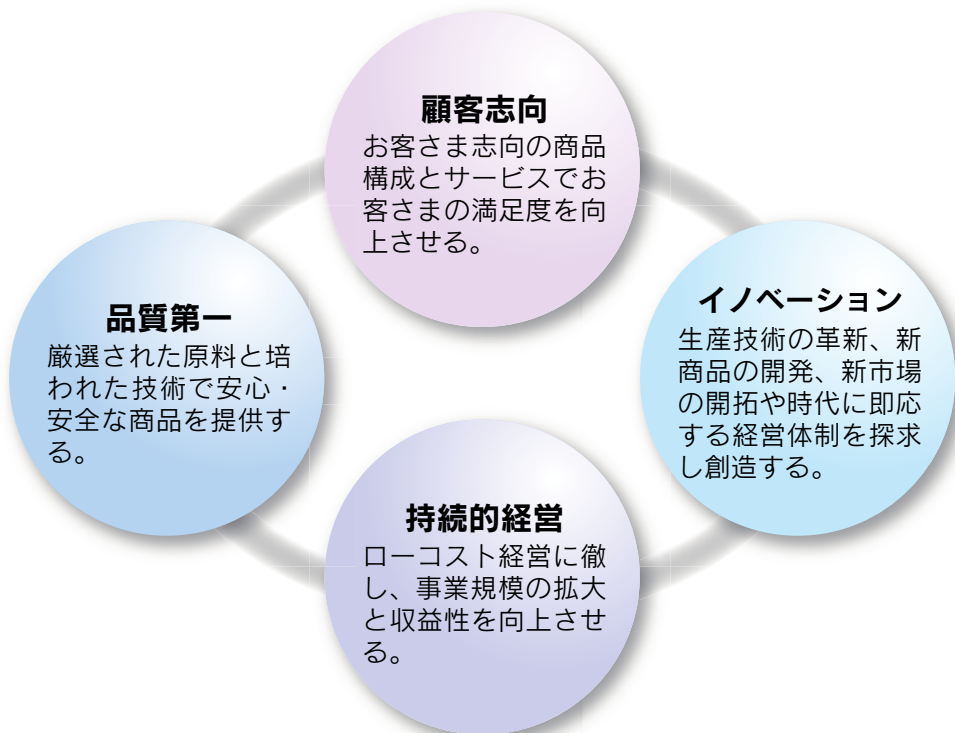
代表取締役社長 東 紘一郎



会社の経営の基本方針

当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ。)は、製造業としての原点であるモノづくりを追求し、「品質第一」、「顧客志向」、「イノベーション」、「持続的経営」を基本として、新商品開発、新市場の開拓を探求し創造します。また、お客さま、株主、社員重視の経営を行い、事業規模拡大と収益力向上を目指します。

また、ベトナムの飼料会社「HIGASHIMARU VIETNAM CO.,LTD」においては、当社が永年培ってきた技術及びブランドを活かし、工場の稼働率を引き上げ、生産及び販売を軌道に乗せて収支改善を図ってまいります。



目標とする経営指標及び中長期的な会社の経営戦略

今後、ますますデフレ圧力が強まり企業間競争が激化するなかで、経営資源の有効活用と組織の活性化を図り、値ごろ感に訴求するヒガシマルブランドを確立するとともに、企業体質をバランスのとれた量から質へ進化させ、収益力の維持・向上を図るために以下の経営戦略を掲げて取り組んでまいります。

- ① 経営の強化と事業戦略の鮮明化
 - ・ 人員配置と業務プロセスの見直しを行い、組織機能のスリム化と意思決定のスピード化を図る
 - ・ 各事業の持つ機能及び資産の横断的活用を図る
 - ・ 経営資源の有効活用と本業との相乗効果を狙って新規事業や海外市場へ進出する
- ② コスト競争力の強化とリスク管理の向上
 - ・ 経営資源の有効活用と組織のスリム化により事業効率を高め、業務プロセス及び製品企画段階からコストダウンのできる仕組みを作る
 - ・ 組織能力をフルに活用し、原材料、経費のコストダウン及び効率化を図る
 - ・ 組織を挙げて内部統制制度の充実とリスク管理の向上を目指す
- ③ モノづくりの追求と企業価値の向上
 - ・ 収益性の高い革新的な研究開発を行う
 - ・ 営業及び市場ニーズに即し、重要度・緊急度の面から個別に研究テーマの優先順位を決め、資源を有効活用する
 - ・ 代替及び新原料の探索と生産設備の改良改善及び生産技術の向上を目指す
- ④ 社員の精鋭化と志気の向上
 - ・ 業務プロセスの見直しにより、適正な人員配置と組織のスリム化を推進する
 - ・ 成果に応じた公正な評価による人材の活用を行い、社員のモラルと志気の向上を図る

会社の対処すべき課題

米国発のサブプライムローン問題を背景とした金融市場の混乱により世界経済は急速に悪化し、石油・穀物相場の下落や円高が進行するなど、経済低迷が続きデフレ圧力が強まることが予想されます。

このような状況のなか、生産設備の稼働率を引上げ、効率的な生産活動を行うことによって原価率の上昇を抑え、設備投資の抑制と適正な人員配置によって固定比率を引下げ、収益性の維持向上に努めてまいります。

ベトナムでは、当社のエビ種苗生産用飼料の知名度を活かし、エビ育成用飼料のシェア拡大に努めてまいります。

また、経営環境の厳しさが増し、一方では企業の社会的責任が問われるなか、コンプライアンス意識の高揚と内部統制システムの強化を図ってまいります。

経営成績(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

【事業の経過及びその成果】

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や景気後退、急激な円高、株価の暴落により、輸出関連産業を中心に企業収益が急激に悪化いたしました。

このような状況の下、当社グループは、安心・安全な商品を提供すべく、品質管理に細心の注意を払うとともに経費比率の逡減に努めてまいりました。

その結果、売上高は88億79百万円(前期比10.7%増)、営業利益は65百万円(前期比69.0%減)、経常利益は71百万円(前期比78.9%減)、当期純損失は92百万円(前期は、当期純利益は2億円)となりました。

水産事業(7,444百万円)

【事業の内容】

水産事業は、国内トップシェアのクルマエビ飼料類を中心に、ハマチ飼料類、各種養魚用配合飼料の製造・販売を行っております。

シェア拡大の原動力は研究開発力にあり、既存飼料の改良と新規飼料の開発、また、機能性・耐病性飼料の開発にも取り組み、養殖方法の技術指導を含めた幅広いサポート体制を整えております。

食品事業(1,435百万円)

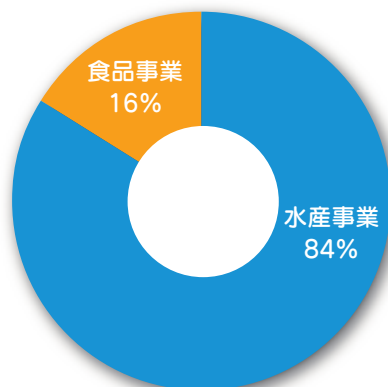
【事業の内容】

食品事業は、即席麺類、乾麺、つゆ類、その他麺類を製造・販売しております。

伝統の味と品質をしっかり守りながら、厳選された天然素材から生まれる風味と香りを生かした製品づくりに努め、食に携わる企業として「安心・安全」の確保はもちろん、徹底した品質の維持を行っております。

第30期(平成21年3月期)

連結売上高8,879百万円



当連結会計年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:百万円)

	売上高	営業費用	営業利益
水産事業	7,444	7,196	247
食品事業	1,435	1,416	19
計	8,879	8,612	266
消去又は全社	(-)	200	(200)
連結	8,879	8,813	65

前連結会計年度(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位:百万円)

	売上高	営業費用	営業利益
水産事業	6,688	6,269	418
食品事業	1,332	1,331	0
計	8,020	7,601	419
消去又は全社	(-)	207	(207)
連結	8,020	7,808	212

(注) 1. 事業区分は、製造方法、市場及び販売方法の類似性を勘案して区分しております。

2. 各事業の主な製品は次のとおりであります。

(1) 水産事業…クルマエビ飼料類、ハマチ飼料類、その他養魚用飼料類

(2) 食品事業…即席麺類、乾麺・つゆ類、その他麺類

3. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

水産事業

クルマエビ飼料類は、沖縄方面では春先の低水温により稚エビ生産が遅れ気味でありましたが、池入れ後の稚エビに魚病被害等が少なかったため販売量は増加しました。ハマチ飼料類及びマダイ飼料類は、魚類市況は上期に幾分回復が窺えましたが下期には大幅に下落し、飼育尾数の減少傾向が緩やかであったことから販売量は増加しました。

主原料の魚粉等は高止まり、副原料及び資材等は値上がりし、燃料等については昨年末あたりから急落したもののそれまでの高騰が響き、原価率は上昇しました。

その結果、水産事業の売上高は74億44百万円(前期比11.3%増)、営業利益は2億47百万円(前期比40.9%減)となりました。



食品事業

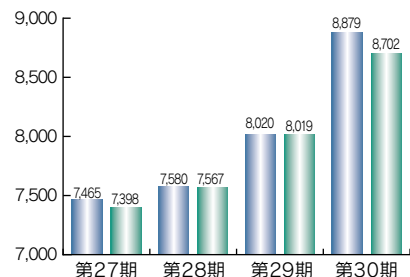
即席麺類は、九州から首都圏に販路が徐々に拡大し、機械そうめん類は猛暑による消費増と大口の新規受注、その他皿うどん類も販売量が増加しました。また、小麦粉等の値上げに伴う価格改定を行ったことから売上高も増加しました。

その結果、食品事業の売上高は14億35百万円(前期比7.7%増)、営業利益は19百万円となりました。

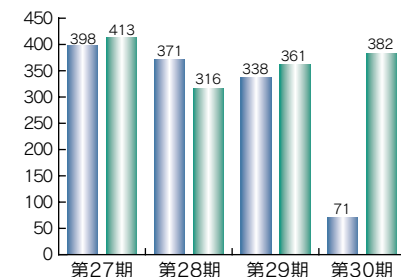


■ 連結 ■ 個別

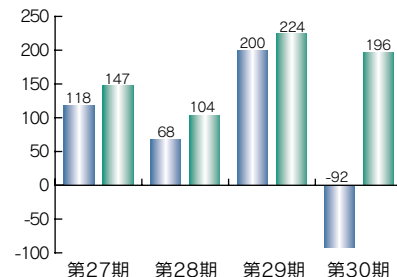
売上高の推移 (単位:百万円)



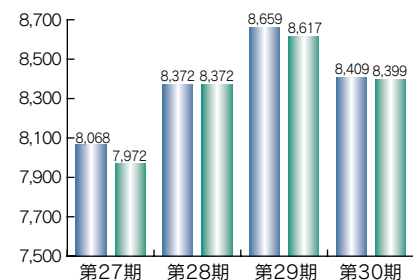
経常利益の推移 (単位:百万円)



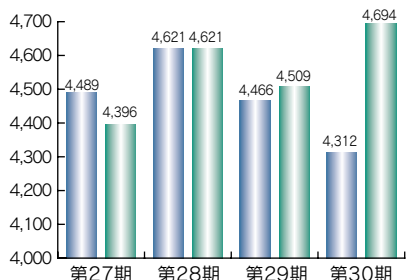
当期純利益の推移 (単位:百万円)



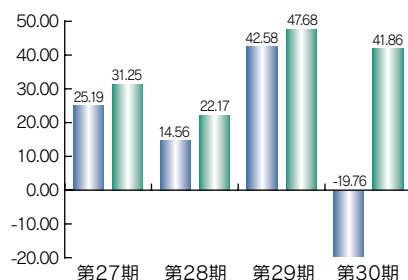
総資産の推移 (単位:百万円)



純資産の推移 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益の推移 (単位:円)



連結

	第27期	第28期	第29期	第30期 (当期)
売上高(百万円)	7,465	7,580	8,020	8,879
経常利益(百万円)	398	371	338	71
当期純利益(百万円)	118	68	200	△92
総資産(百万円)	8,068	8,372	8,659	8,409
純資産(百万円)	4,489	4,621	4,466	4,312
1株当たり当期純利益(円)	25.19	14.56	42.58	△19.76

個別

	第27期	第28期	第29期	第30期 (当期)
売上高	7,398	7,567	8,019	8,702
経常利益	413	316	361	382
当期純利益	147	104	224	196
総資産	7,972	8,372	8,617	8,399
純資産	4,396	4,621	4,509	4,694
1株当たり当期純利益	31.25	22.17	47.68	41.86

連結貸借対照表

科 目	当期	前期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	3,637,787	3,914,696
現金及び預金	1,212,131	1,079,632
受取手形及び売掛金	1,132,733	1,312,818
たな卸資産	1,166,034	1,155,121
繰延税金資産	84,394	64,736
その他	43,151	303,083
貸倒引当金	△ 658	△ 695
固定資産	4,771,519	4,744,869
有形固定資産	3,884,148	3,907,173
建物及び構築物	1,142,583	1,062,321
機械装置及び運搬具	877,840	799,802
土地	1,746,746	1,746,746
建設仮勘定	78,291	249,204
その他	38,687	49,098
無形固定資産	101,758	17,802
投資その他の資産	785,612	819,894
投資有価証券	204,728	201,502
繰延税金資産	51,548	96,074
その他	552,871	543,421
貸倒引当金	△ 23,536	△ 21,104
資産合計	8,409,306	8,659,566

(注)有形固定資産の減価償却累計額 4,251,483千円 3,978,647千円

科 目	当期	前期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	3,278,109	3,267,752
買掛金	373,200	443,903
短期借入金	2,452,741	2,435,447
未払法人税等	133,000	58,100
賞与引当金	77,793	57,996
その他	241,373	272,305
固定負債	818,292	924,922
長期借入金	116,460	149,616
役員退職慰労引当金	458,495	450,014
その他	243,337	325,291
負債合計	4,096,401	4,192,674
(純資産の部)		
株主資本	4,444,097	4,575,225
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,410,715	3,541,325
自己株式	△ 28,917	△ 28,400
評価・換算差額等	△ 131,192	△ 108,333
その他有価証券評価差額金	10,766	28,473
繰延ヘッジ損益	△ 74,513	△ 118,016
為替換算調整勘定	△ 67,445	△ 18,791
純資産合計	4,312,904	4,466,891
負債純資産合計	8,409,306	8,659,566

(注)1.1株当たり純資産額 916円63銭 949円19銭
 2.連結会社が保有する自己株式の数は、普通株式40,809株であります。
 3.記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当期	前期
	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高	8,879,169	8,020,802
売上原価	7,619,062	6,615,859
売上総利益	1,260,107	1,404,943
販売費及び一般管理費	1,194,281	1,192,906
営業利益	65,826	212,037
営業外収益	102,088	164,467
営業外費用	96,608	38,049
経常利益	71,306	338,454
特別利益	968	126,591
特別損失	19,405	34,038
税金等調整前当期純利益	52,868	431,008
法人税、住民税及び事業税	157,281	49,607
法人税等調整額	7,640	181,027
少数株主損失(△)	△19,090	—
当期純利益又は当期純損失(△)	△92,962	200,372

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当期	前期
	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	602,234	373,559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△628,730	△371,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,193	△7,232
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48,896	△6,591
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△95,585	△11,710
現金及び現金同等物の期首残高	553,694	565,404
現金及び現金同等物の期末残高	458,108	553,694

(注)1.現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	1,212,131千円	1,079,632千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△754,022千円	△525,937千円
現金及び現金同等物	458,108千円	553,694千円

2.記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成20年3月31日残高	603,900	458,400	3,541,325	△28,400	4,575,225	28,473	△118,016	△18,791	△108,333	4,466,891
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△37,648		△37,648					△37,648
当期純損失			△92,962		△92,962					△92,962
自己株式の取得				△517	△517					△517
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△17,707	43,502	△48,654	△22,858	△22,858
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△130,610	△517	△131,128	△17,707	43,502	△48,654	△22,858	△153,986
平成21年3月31日残高	603,900	458,400	3,410,715	△28,917	4,444,097	10,766	△74,513	△67,445	△131,192	4,312,904

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	3,452,710	3,632,575
現金及び預金	1,147,145	1,045,961
受取手形	30,211	31,920
売掛金	1,094,243	1,278,156
たな卸資産	1,063,003	1,129,796
繰延税金資産	84,435	65,569
その他	34,433	81,966
貸倒引当金	△ 763	△ 795
固定資産	4,946,861	4,984,876
有形固定資産	3,612,360	3,709,917
建物	902,676	947,557
構築物	105,197	114,763
機械及び装置	734,518	783,494
土地	1,746,746	1,746,746
建設仮勘定	78,291	62,322
その他	44,930	55,033
無形固定資産	18,479	17,802
ソフトウェア	14,777	14,100
電話加入権	3,701	3,701
投資その他の資産	1,316,022	1,257,156
投資有価証券	204,728	201,502
関係会社株式	238,203	238,203
長期貸付金	300,000	200,000
繰延税金資産	51,548	96,113
保険積立金	439,901	422,036
その他	105,176	120,404
貸倒引当金	△ 23,536	△ 21,104
資産合計	8,399,571	8,617,452

(注)有形固定資産の減価償却累計額 4,233,872千円 3,978,564千円

科 目	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	2,886,996	3,182,821
買掛金	354,438	425,617
短期借入金	2,078,156	2,376,485
未払法人税等	133,000	58,100
賞与引当金	77,793	57,996
その他	243,608	264,622
固定負債	818,292	924,922
長期借入金	116,460	149,616
役員退職慰労引当金	458,495	450,014
為替予約	145,469	247,240
その他	97,867	78,051
負債合計	3,705,288	4,107,744
(純資産の部)		
株主資本	4,758,030	4,599,250
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,724,647	3,565,350
自己株式	△ 28,917	△ 28,400
評価・換算差額等	△ 63,747	△ 89,542
その他有価証券評価差額金	10,766	28,473
繰延ヘッジ損益	△ 74,513	△ 118,016
純資産合計	4,694,283	4,509,708
負債純資産合計	8,399,571	8,617,452

(注)1.1株当たり純資産額 997円68銭 958円29銭
 2.連結会社が保有する自己株式の数は、普通株式40,809株であります。
 3.記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別損益計算書

(単位:千円)

科 目	当期	前期
	自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高	8,702,701	8,019,203
売上原価	7,324,107	6,618,442
売上総利益	1,378,593	1,400,760
販売費及び一般管理費	1,143,624	1,169,450
営業利益	234,969	231,310
営業外収益	181,490	168,311
営業外費用	34,374	38,015
経常利益	382,085	361,606
特別利益	19	126,591
特別損失	19,405	34,038
税引前当期純利益	362,699	454,159
法人税、住民税及び事業税	157,281	49,607
法人税等調整額	8,472	180,153
当期純利益	196,945	224,398

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別株主資本等変動計算書 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
平成20年3月31日残高	603,900	458,400	3,565,350	△28,400	4,599,250	28,473	△118,016	△89,542	4,509,708
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△37,648		△37,648				△37,648
当期純利益			196,945		196,945				196,945
自己株式の取得				△517	△517				△517
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△17,707	43,502	25,795	25,795
事業年度中の変動額合計	—	—	159,297	△517	158,779	△17,707	43,502	25,795	184,574
平成21年3月31日残高	603,900	458,400	3,724,647	△28,917	4,758,030	10,766	△74,513	△63,747	4,694,283

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■鹿児島工場

製造課、工務課、品質管理課、業務課が一体となり品質第一を心がけ、安心・安全な製品づくりに努力しています。原料受入れから品質検査を経て、製品出荷まで担当者が責任を持って製造しております。

我々のモットーは、需要の変化にも柔軟に対応し、製品の品質に対するお客様の信頼に応えることです。また、省エネルギー対策を推進し、製造の効率化に取り組んでおります。



鹿児島工場内

クルマエビ飼料

当社の主力製品であり国内シェア率50%以上の高い支持をいただいております。製品には、低価格飼料として「エビスター」、レギュラー飼料として「バイタルブロン」、高成長飼料として「ゴールドブロン」を販売しております。また、その他にも様々な養殖ニーズに即した飼料も販売しております。



ハマチ飼料

ハマチの稚魚(モジャコ)から約1kgサイズまでは、高タンパクで栄養強化された「錦江」飼料を販売、その後出荷サイズまでは、魚の大きさに合わせて配合された「鱒皇(ぶりおう)」飼料を販売しております。また、カンパチ専用のカンパチ飼料も開発販売をしております。



■水産研究部

当社の優位性は、さまざまな高付加価値製品を生み出す研究開発力にあります。現在、鹿児島県いちき串木野市に大規模な臨海研究所を有し、時代のニーズを研究員スタッフがいち早く捉え、「独創的な研究こそが企業競争力の源泉である」と考える当社の基本的スタンスから、その確固たる研究開発体制が貫かれております。



生物飼料の管理風景です。EP飼料だけではなく、種苗生産初期に利用される生物飼料用の栄養強化剤の改良、開発を手掛けています。



水産研究部内

■海外子会社「HIGASHIMARU VIETNAM CO.,LTD」

2007年5月、当社はベトナム・ティエンザン省タンフーン工業団地にHIGASHIMARU VIETNAM CO.,LTDを設立しました。

ベトナムのメコン川流域を中心とした南部では、豊富な水量を利用したキャットフィッシュやブラックタイガーなどの養殖が盛んに行われ、今後も養殖産業の拡大が見込まれます。

こうした巨大マーケットに対し、当社の技術と経験を結集した生産設備を持って養殖配合飼料をつくりだし、また、R&D企業として、業界ニーズに対応する研究開発によって、ウイルスフリーの親工ビと健全種苗の作出を目指し、当社グループの業績拡大とベトナム養殖産業の発展に寄与します。



■食品事業

製麺事業を中心に即席麺、皿うどん、乾麺・つゆ類、スナック類の製造・販売を行っております。伝統の味と品質をしっかりと守りながら、毎日の食卓で愛され続けているロングラン商品をお客様にお届けしております。また、業務用やプライベートブランド等も企画・ご提案しております。食に携わる企業として「安心・安全」の確保はもちろん、お客様のニーズに応える食品メーカーとして取り組んでおります。



皿うどん

炒めた豚肉・野菜に添付スープで味付けしたあんを、サクサクした揚げ麺にからめるだけで本場長崎の味をお楽しみいただけます。スープは、野菜・果実・香辛料を熟成させたウスターソース風味です。食べきりサイズでお求めやすくなりました。



そうめん

伝統ある技術を活かして近代的な設備で製造しました。一定期間保存することでゆでてものびにくい、歯切れの良いそうめんに仕上げています。のごしの良さ、もちもち感が特徴のそうめんです。



即席めん製造



山芋入りそば

自社工場で製粉した挽きたてのそば粉に山芋粉を練りこんだ風味豊かなそばです。



早煮うどん

ゆで時間を短縮した早煮えタイプのうどんです。平めんタイプの風味豊かなうどんです。



小麦粉サイロ

■通信販売「麦吉本舗」のご紹介 URL <http://www.mugikichi.com>

「麦吉本舗」は当社製品のほか地域特産品、健康食品を取り扱っているヒガシフーズの通販サイトです。



ジュージューと音が聞こえてきそうな美味しさ!

山と緑に囲まれた自然の中で大事に育てられた地鶏のモモ・ムネ肉をカットし、塩・こしょう・にんにくで味付けして、炭火で焼き上げました。炭火の効果で地鶏の持ち味が一層活かされた地鶏は柔らかな肉質。旨味のつまったジューシーな肉汁が口の中に広がります。



株式の状況 (平成21年3月31日現在)

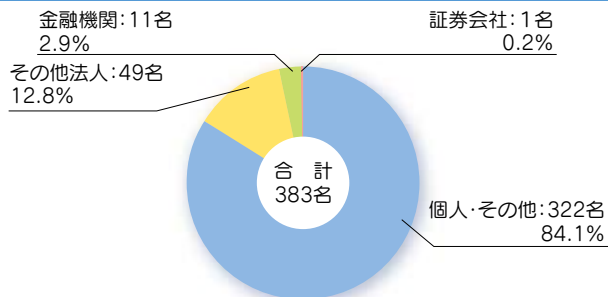
■株式状況

会社が発行する株式の総数	17,900,000株
発行済株式総数	4,746,000株
株主数	383名

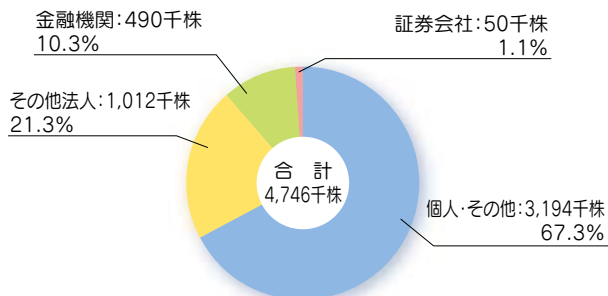
■大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
東 紘 一 郎	628	13.23
東 勤	575	12.11
東 実	575	12.11
東 吉 太 郎	547	11.52
東 久 江	380	8.00
エ ス ト 有 限 会 社	227	4.78
株式会社鹿児島銀行	165	3.47
鹿児島リース株式会社	120	2.52
ヒガシマル共栄会	119	2.50
日本生命保険相互会社	80	1.68

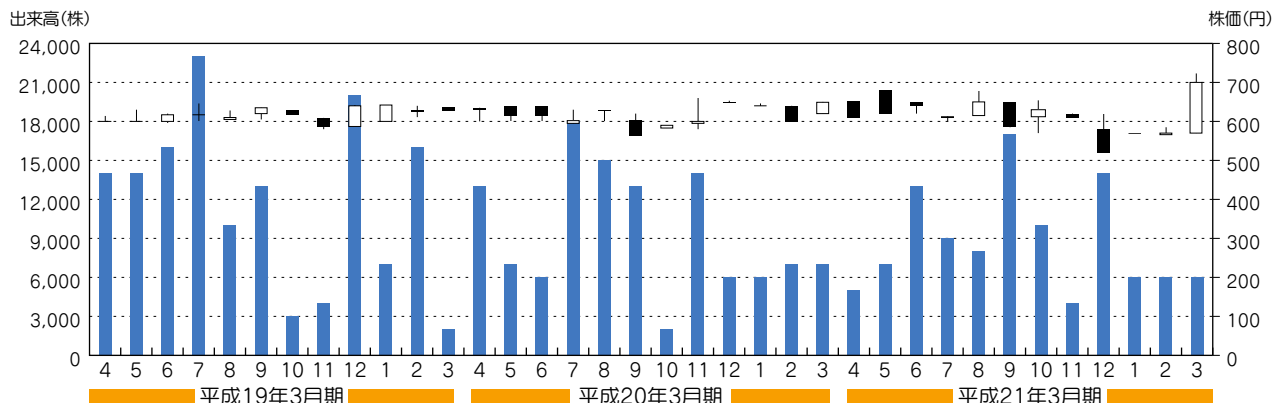
■所有者別株式分布状況



■所有数別株式分布状況



■株価及び出来高の推移



■会社の概要

社 名 株式会社ヒガシマル
HIGASHIMARU CO.,LTD.

設 立 1979年10月2日

本社所在地 〒899-2594
鹿児島県日置市伊集院町猪鹿倉20番地
電話099-273-3859

資 本 金 6億390万円

従 業 員 数 180名

事 業 内 容 クルマエビ用配合飼料、魚類用配合飼料、
即席麺、乾麺、めんつゆ等の製造販売

工 場 本社工場(日置市)、鹿児島工場、串木野工場、
串木野臨海研究所

営 業 所 関東営業所、四国営業所、福岡営業所、沖縄営業所

■役員

代表取締役会長	東 吉 太 郎
代表取締役社長	東 紘 一 郎
専務取締役	東 勤 実
常務取締役	東 克 昭
常勤監査役	本 渡 一 徳
監査役	湯 浦 英 昭
監査役	福 園 英 昭

■株主優待のご案内

当社では、株主の皆さまへの利益還元の一環として、株主優待制度を設けております。

- ◆所有株式数1,000株以上保有の株主さまに対し、3,000円相当の自社商品を年2回(6月・12月)送付させていただきます。
- ◆割当基準日は、3月末・9月末となっております。



(注)商品の内容は季節によって異なります。

■ホームページのご案内

◆当社ホームページ

2009年3月にリニューアルを行い、多様な情報を閲覧しやすくなりました。水産部門、食品部門の各事業内容の紹介や、決算短信、事業報告書などのIR情報をご案内しております。ぜひご覧ください。



URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>

◆通信販売事業(麦吉本舗)

麦吉本舗では、皆さまに長く愛され信頼で結ばれるよう、品質にこだわり健康を考へて選び抜いた商品を豊富に取りそろえております。そうめんやラーメン等の麺類をはじめ、麺つゆやごま油、お茶、健康食品や無添加食品等を豊富に取りそろえております。



URL <http://www.mugikichi.com>

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
配当金受領株主 確定日	期末配当金受領株主確定日3月31日 (中間配当をする場合の配当金受領株主確定日は9月30日です。)
基準日	3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特定口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 ☎0120-288-324
公告掲載方法	電子公告により行います。
ホームページURL	http://www.k-higashimaru.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。